

授業科目名: 保育内容の指導法(人間関係)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 青柳 和夫 担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)	学校現場での勤務経験を持つ教員が、保育内容(人間関係)を中心とした指導計画の作成について指導する。		
科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 授業のテーマ 人との関わりを通して培いたい伝え合う力と、幼児の発達をふまえた活動支援のあり方 到達目標 ・幼児を取り巻く人間関係の特徴と課題を、家庭や地域での生活・幼稚園生活におけるきまりや約束、習慣との関連から捉えて目標を設定することができる。 ・相手の人と主体的に関わる際の表現(自己主張・自己抑制)、感情をふまえた対応のあり方について学修することができる。 ・題材の設定や教材研究をしていく中で、情報機器の活用をふまえた活動計画が提案できる ・幼児の発達段階をふまえて、創意・工夫のある保育活動計画が作成できる。			
授業の概要 本授業では目標をふまえて、幼稚園教育の基本、領域「人間関係」のねらいと内容、年間保育活動計画の立案と考察、情報機器の活用、教材の工夫、評価と考察による改善、小学校との接続について学修し、3年間の幼児の発達段階をふまえた活動計画の実施による成果を、次の小学校でも生かせるように年間保育活動計画案が作成できることをねらいとする。			
授業計画 第1回 幼稚園教育の基本 第2回 領域「人間関係」のねらいと内容 第3回 人との関わりと幼児の発達過程(3歳児～5歳児) 第4回 身のまわりの人との関係づくり 第5回 主体的・対話的な人間関係を築く 第6回 学級経営と人間関係・ルールづくり 第7回 幼児一人一人の特性をふまえた保育の構想 第8回 領域「人間関係」の指導計画と目標・活動計画のあり方 第9回 領域「人間関係」の学年毎の活動目標 第10回 年間保育活動計画案を作成する上での留意点 第11回 領域「人間関係」での年間保育活動計画案の事例研究 第12回 対話力(伝え合う力)を高める手立て 第13回 情報機器の活用と教材の工夫 第14回 事例研究を終えての評価と改善 第15回 卒園までに身につけたい領域「人間関係」の内容と小学校への繋がり 科目修得試験			
スクーリングでの学修 幼稚園教育の基本、領域「人間関係」のねらいと内容、年間保育活動計画の立案と考察は、第1回～第11回で内容を扱い、情報機器の活用、評価と考察・改善、小学校との繋がり、第12回～第15回で内容を扱う。			
テキスト 文部科学省「幼稚園教育要領解説」平成30年3月、978-4-577-81447-5			
参考書・参考資料等 無藤 隆(2017)「幼稚園教育要領ハンドブック」Gakken、978-4-05-800810-2 無藤 隆(2018)「新訂 事例で学ぶ保育内容(人間関係)」萌文書林978-4-89347-257-1			
学生に対する評価 スクーリング評価(25%)、レポート評価(25%)、科目修得試験(50%)			